

平成 27 年 12 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 27 年 5 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所

本社所在都道府県 東京都

本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階

問い合わせ先 責任者役職名 取締役総務部長

氏 名 村井 則道

T E L (03) 5443-2991

1. 平成 27 年 12 月期第 1 四半期の業績（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
27 年第 1 四半期	24,197	(△22.5)	2,078	(△44.9)	2,087	(△45.0)
26 年第 1 四半期	31,206	(52.7)	3,770	(—)	3,794	(—)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
27 年第 1 四半期	1,502	(△52.7)	742 08	- -	1.4	1.9	8.6
26 年第 1 四半期	3,175	(—)	1,568 35	- -	3.0	3.3	12.2

(注) 1. 期中平均発行済株式数 27 年第 1 四半期 2,025 株 26 年第 1 四半期 2,025 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円	千円	千円	千円	%	円 銭
27 年第 1 四半期	110,145	104,458	104,458	104,458	94.8	51,584 21
26 年第 1 四半期	113,628	104,268	104,268	104,268	91.8	51,490 77

(注) 期末発行済株式数 27 年第 1 四半期 2,025 株 26 年第 1 四半期 2,025 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
27年第1四半期	△7,139	—	—	89,143
26年第1四半期	△10	36	—	85,796

2. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年 間
	千円	千円	千円				円 銭	円 銭
通 期	92,000	3,900	2,100	—	—	—	0 00	0 00

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期） 1,037円04銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額（通期）は、第1四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

第 25 期 第 1 四半期報告書

(平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目7番8号
 芝サンエスワカマツビル 10階
 電話番号 03-5443-2991
 連絡者 取締役総務部長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期別 科目	第 25 期 第 1 四半期 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	前年同期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
売上高	24,197	24,197	31,206
売上原価	15,661	15,661	19,889
売上総利益又は総損失(△)	8,535	8,535	11,316
販売費及び一般管理費	6,457	6,457	7,545
営業利益又は損失(△)	2,078	2,078	3,770
営業外収益	9	9	23
経常利益又は損失(△)	2,087	2,087	3,794
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	2,087	2,087	3,794
法人税・住民税及び事業税	44	44	43
法人税等調整額	540	540	575
四半期(当期) 純利益又は損失(△)	1,502	1,502	3,175

期別 項目	第 25 期 第 1 四半期 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 27 年 1 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日	前年同期累計 自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
期中平均発行済株式数	2,025 株	2,025 株	2,025 株
1 株当たり四半期 (当期)純利益 又は純損失(△)	742 円 08 銭	742 円 08 銭	1,568 円 35 銭
潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	－円－銭	－円－銭	－円－銭

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第25期 第1四半期 自平成27年1月1日 至平成27年3月31日	当期累計 自平成27年1月1日 至平成27年3月31日	前年同期累計 自平成26年1月1日 至平成26年3月31日
調査・出版事業	24,197	24,197	31,206
合計	24,197	24,197	31,206

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第24期末 (平成26年12月31日現在)	第25期 第1四半期末 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	96,283	89,143
2. 売掛金	7,914	13,524
3. 製品	93	—
4. 貯蔵品	87	133
5. 前払費用	1,468	1,501
6. 仮払税金	—	1
7. 短期繰延税金資産	540	—
8. 貸倒引当金	△47	△47
9. その他	12	—
流動資産合計	106,353	104,257
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 工具器具備品	2,642	2,549
有形固定資産合計	2,642	2,549
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	424	424
無形固定資産合計	424	424
3. 投資その他の資産		
(1) 敷金・保証金	2,379	2,379
(2) 長期繰延税金資産	534	534
投資その他の資産合計	2,914	2,914
固定資産合計	5,980	5,888
資産合計	112,333	110,145

科 目	期 別	第 24 期 末	第 25 期 第 1 四 半 期 末
		(平成 26 年 12 月 31 日現在)	(平成 27 年 3 月 31 日現在)
(負債の部)			
I 流 動 負 債			
1. 買 掛 金		364	—
2. 未 払 金		256	260
3. 未 払 費 用		2,667	1,713
4. 未 払 法 人 税 等		179	44
5. 未 払 消 費 税 等		3,595	1,535
6. 預 り 金		2,315	1,116
7. 未 払 配 当 金		0	0
8. 賞 与 引 当 金		—	1,017
流 動 負 債 合 計		9,378	5,687
負 債 合 計		9,378	5,687
(純資産の部)			
I 株 主 資 本			
1. 資 本 金		53,000	53,000
2. 資 本 剰 余 金 資 本 準 備 金		632	632
資 本 剰 余 金 合 計		632	632
3. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金		12,618	12,618
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金		15,000	15,000
繰 越 利 益 剰 余 金		21,705	23,208
利 益 剰 余 金 合 計		49,323	50,826
株 主 資 本 合 計		102,955	104,458
純 資 産 合 計		102,955	104,458
負 債 純 資 産 合 計		112,333	110,145

(注)

項 目	期 別	第 24 期 末	第 25 期 第 1 四 半 期 末
		(平成 26 年 12 月 31 日現在)	(平成 27 年 3 月 31 日現在)
発 行 済 株 式 総 数		2,025 株	2,025 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		50,842 円 13 銭	51,584 円 21 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本						株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利 益 剰余金 合 計	
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金			
				別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
平成 27 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	21,705	49,323	102,955
第 1 四半期中の変動額							
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	1,502	1,502	1,502
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	1,502	1,502	1,502
平成 27 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,208	50,826	104,458

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。 2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。 3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。 |
|--|

なお、当第 1 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第25期 第1四半期（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）の業績の概況

平成27年1-3月（第1四半期）の国内景気はGDP前期比実質2.4%増と、2四半期連続プラス成長しています。雇用・所得環境の改善により前四半期に引き続き個人消費が堅調なこと、一部大手企業で収益の改善から設備投資が増加していること、更に円安を背景に海外生産から国内生産にシフトする輸出型製造業が増えているからです。

当社のドメインとするICT分野においては全般的に上向いています。大手銀行、グローバル製造業でこれまで抑制していた基盤システムの見直しや、新規事業開拓のための大型システム開発案件が継続しています。マイナンバー関連需要については官公庁・自治体から民間分野にシフトしてきています。流通・小売分野でのEC開発やビックデータビジネスは開発・解析要員が逼迫している状況です。

一方、弊社の第1四半期は、昨年の第1四半期の52.7%増の反動から22.5%減と厳しい状況です。一昨年と比べれば18.4%増です。商談件数は昨年以上ですが、成約率が悪くなっています。

これを事業別に見ますと、自社企画資料につきましては13.7%減でした。制作タイトル数は昨年同期より増えていますが、お客様のニーズにフィットしていない部分があります。当社は1人の研究員が、一つの自社企画資料を制作するに当って、業界のキーマンとの接点が「取材」と「営業」の2回ありますので、今後はもう少し顧客のニーズを汲み取り、マーケット・インのテーマ及び企画内容を検討していきます。

受託調査につきましては35.3%減と更に大幅減少となりました。前年同期が2.9倍と大幅増加した反動が大きいです。調査企画提案件数と比べて成約率が悪くなっている面もあります。自社企画資料の価格は19年来同じ価格で対応し、市場調査業界のプライスリーダー的ポジションですが、受託調査については今後、価格と内容に関して柔軟性をもって対応していきます。

これらの結果、当第1四半期の売上高につきましては、24,197千円（対前年同期比22.5%減）となりました。利益につきましては、営業利益2,078千円（前年同期営業利益3,770千円）、経常利益2,087千円（前年同期経常利益3,794千円）、四半期純利益1,502千円（前年同期四半期純利益3,175千円）と昨年同期よりは減少していますが、黒字となりました。原因は、人員減少による固定費削減です。

お陰様で、社員昇給を25年間連続実現することができました。しかし、2013年度の営業利益ベースでの赤字決算の責任を取って、2013年4月から実施している代表取締役社長の33%年俸カットについては、今期の売上・利益予測を踏まえ、今後も継続することとしました。

III 第25期通期の売上高及び利益の予測について

第25期通期の売上高及び利益の予測につきましては、売上高は第24期決算発表時点の100,000千円を92,000千円（前年対比11.8%減）と減額修正します。利益につきましては、経常利益2,500千円を、3,900千円（前年比横ばい）、当期純利益1,500千円を2,100千円（前年比12.8%増）に増額修正します。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別
	第25期 第1四半期 〔 自平成27年1月1日 至平成27年3月31日 〕
現金及び預金の増減額	△7,139
現金及び預金の四半期首残高	96,283
現金及び預金の四半期末残高	89,143

(主な増減理由)

売掛債権の増加による 5,610 千円の減少、未払消費税の減少による 2,060 千円の減少、預り金の減少による 1,198 千円の減少、賞与引当金の増加による 1,017 千円の増加等が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V その他

該当事項はありません。